

人と生きもの パートナースhip推進事業

信州の生きものを 未来へ引き継ぐために

長野県は企業などの皆様と、信州の豊かな自然環境や
生きものの多様性を社会全体で守る取組を進めます。



長野県

信州の豊かな自然環境をみんなの手で守ろう！

～人と生きもの パートナーシップ推進事業のご案内～



長野県知事
阿部 守一

長野県の自然環境は、「日本の屋根」と言われる3,000m級の高山や里地里山、湖沼など変化に富み、その「恵み」の下で多様な生物が育まれています。

この豊かな自然環境を守るため、長野県では、平成24年2月に「生物多様性ながの県戦略」を策定し、人と自然が共生する信州の実現に向けた取組を進めています。

しかし一方で、約10年ぶりに改訂した県版レッドリストでは、絶滅のおそれがある動植物の種の数が約300種類増加するなど、本県に棲む「生きもの」の生息環境が依然として厳しい状況にある実態が明らかとなりました。

現在、県内では、様々な市民団体が自然環境の保全活動を続けていますが、個々の取組では、活動資金やマンパワーの面などで限界もあり、今後、積極的な活動を展開するには、企業など皆様の力が必要となっています。

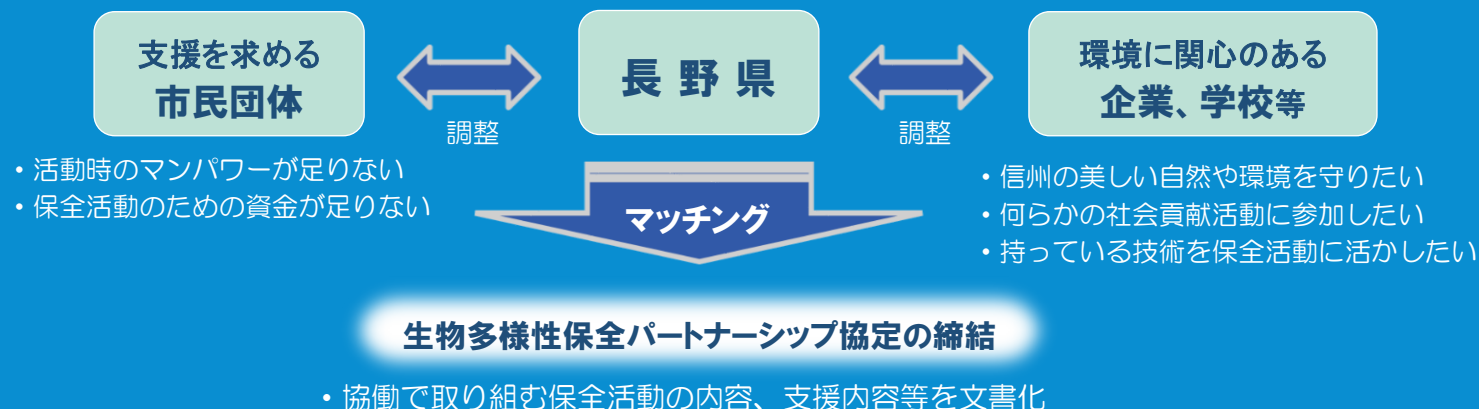
このため、長野県では、市民団体と企業や学校などが協働して保全活動を行う「人と生きものパートナーシップ推進事業」を平成27年度から開始し、社会全体で支え合う仕組みづくりを進めています。

長野県の豊かな自然環境とそこで育まれる生きものたちは、私たち県民にとって、かけがえのない貴重な「宝」です。

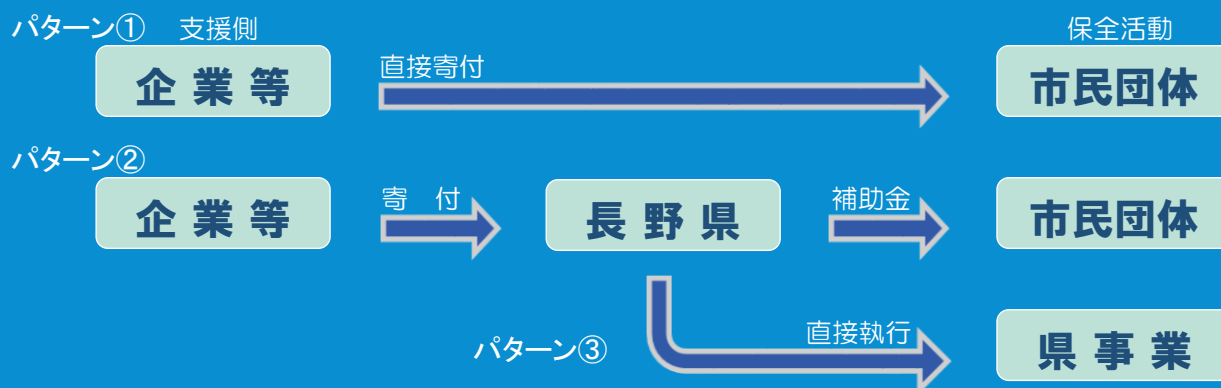
今ある豊かな自然環境を次世代へしっかり引き継いでいけるよう、企業や学校など様々な団体の皆様が、パートナーシップ推進事業に参画されることを心からお待ちしております。

「人と生きもの パートナースhip推進事業」の仕組み・流れ

① 保全活動を支援してほしい人・したい人を県がマッチング



② 資金支援のパターン 資金による活動支援については、次の流れで対応いたします。



③ 長野県の役割 県は協定締結以降も、協定事項の進捗管理等をサポートする他、広報活動を通じて保全活動の実績などをPRいたします。

企業、学校等が保全活動に参画するメリット

人材育成として活用

- ・社員研修や学生実習の一環として自然保護等の社会活動に関わることは、企業や学校等の人材育成につながります。

地域に欠かせない存在に

- ・企業や学校等が地域の保全活動に寄与することは、CSR活動になるだけでなく、地域に欠かせない存在になるチャンスです。

県も積極的にアピール

- ・パートナーシップ協定を締結した企業や学校等は、県のHPに掲載するなど、自然環境の保全に取り組む団体として積極的にアピールしてまいります。

生物多様性保全パートナーシップ協定の締結事例

平成27年度にスタートした同協定制度で、29件の協定が締結されました。（令和7年12月現在）
協定に基づいて連携・協働で展開されている保全活動の一例をご紹介します。

ミヤマ(株) ミヤマシジミ研究会

- ・企業社員によるミヤマシジミの保全活動
- ・市民団体の保全活動に対する資金支援



・制度初、第一号の協定



・同種保護区を本社に整備



・社員への環境教育学習

楽天(株) 長野イヌワシ研究会

- ・資金支援によるイヌワシの巣棚復元プロジェクト
（実施主体:長野イヌワシ研究会）



・県外企業の第一号協定



・クライマーによる崖面の作業



・人工的に復元された巣棚

松田・南信(株) 上伊那農業高校

- ・資金・機材支援によるアツモリソウの人工増殖活動
（実施主体:上伊那農業高校 バイテク班）



・企業と学校の初の協定



・野生個体の人工授粉作業



・種子から無菌培養で増殖

事業に関するご相談・お問い合わせ先

長野県 環境部 自然保護課 自然保護係

☎ 026-235-7178（直通） FAX 026-235-7498

MAIL shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

表紙写真（左上から時計回り）

アカハネバッタ（那須野雅好）、ミナミメダカ（長野県）、ニホンライチョウのヒナ（高橋広平）、ミヤマモンキチョウ（清水敏道）、
ブッポウソウ（天龍村観光協会）、アツモリソウ（長野県）、オオルリシジミ（清水敏道）、ネバタゴカエル（熊谷聖秀）、ツクモグサ（長野県）

裏表紙写真

ミヤマシジミ（ミヤマ株式会社）、イヌワシ（楽天株式会社）、アツモリソウ（長野県）